

【製造業】

ワイン、  
リキュールなどの  
酒類製造

■企業プロフィール

〒791-1113  
愛媛県松山市森松町519-1  
TEL/089-907-6595  
FAX/089-907-6595  
設立/令和元年8月  
資本金/200万円  
事業内容/ワインやリキュールなどの製造販売  
<https://utenameishu.co.jp/>  
[matsuoka0104@utenameishu.co.jp](mailto:matsuoka0104@utenameishu.co.jp)

■社長プロフィール

松岡 健太  
1986年松山市生まれ。愛媛大学  
大学院博士後期課程修了後、日  
本学術振興会特別研究員(京都  
大学、フィレンツェ大学など)を  
経て、2019年に株式会社ウテナ  
酒を設立。  
座右の銘は「我以外皆我師」  
趣味は読書、映画、美術など多数。

スローガン

●百年後の瀬戸内に、しっかりと根付く  
ような御酒文化を

オリジナル製品・サービス

●柑橘王国愛媛の多種多様な柑橘を用いたイタリアンリキュール(リモンチェットロなど)の製造販売  
●2024年秋の初収穫に向けた醸造用ブドウの栽培



# 松岡 健太

天文学者の御酒  
異色の経歴を活かした御酒造り

代表取締役  
Kenta Matsuoka



本場イタリアの御酒造りで  
瀬戸内の魅力を引き出す

代表の松岡氏は、天文学者としてイタリアを拠点にブラックホールの研究を行ってきた異色の経歴の持ち主。イタリアでの生活の中で、晴天に恵まれた穏やかな気候という面で、地中海と瀬戸内は類似しているのに、なぜ瀬戸内ではワインやリキュール造りが盛んではないのかと疑問を持った。このことが会社設立のきっかけの一つとなり、イタリアで本

百年後には当たり前前に  
瀬戸内ならではの御酒

場のワイン醸造、リキュール製造の技術を学んだのち、瀬戸内の気候を活かした醸造用ブドウ栽培や柑橘類を用いた本格イタリアンリキュールの製造販売を行う(株)ウテナ銘酒を設立。御酒造りの世界へと踏み込んだ。

瀬戸内の柑橘類を用いた「ウテナチェットロシリーズ」は、地中海の風土が生み出した南イタリアの伝統リキュール・リモンチェットロと瀬戸内が育んだ柑橘をつなぐことで誕生したもの。愛媛県産のレモン、イ

ヨカン、デコポンを惜しみなく使用した瀬戸内の御酒だ。今後の展開として、ユズやハッサク、ブラッドオレンジなど種類を増やしていく予定。また、耕作放棄地を利用した醸造用ブドウの栽培も手掛ける。2020年から植樹を始め、約2000本の苗木が生育中。2024年の秋には初収穫を迎える予定で、その後瀬戸内ワインの醸造を開始する。苗木のオーナー会員の募集も植樹と同時にスタート。2022年3月現在会員約250人(新規オーナー会員募集については要問合せ)にのぼる。

天文学×御酒×瀬戸内の  
新しい形を構築

「ウテナチェットロシリーズ」を通じ、愛媛の多種多様な柑橘類を、国内はもちろん海外へも発信する。また、ウテナチェットロシリーズや瀬戸内ワインをどのように地元へ根付かせていくか、瀬戸内の魅力を御酒として抽出するためにはどうすればよいかなど、課題に対してこれまで天文学者として培ってきたロジカルな思考も駆使し解決していく。また瀬戸内ワイン事業の本格稼働に合わせ、二次展開も計画中。星降るワイナリーと称し、ブドウ畑×満天の星空を満喫する宿泊施設も兼ね備えた天文台の開設など、他業種と天文学を掛け合わせたウテナ銘酒にしか提供することができない、天文学×御酒×瀬戸内という新しい形の事業を展開する予定。

# 株式会社ウテナ銘酒

## 百年後の瀬戸内にしっかりと根付く 新たな御酒文化を創造